

**【成果と今後の課題】**

「いっぽ」教室の開設、「特別の教育課程」の実施、JSLカリキュラムを活かした分かりやすい授業づくりの実践、就学実態調査の実施、母語スタッフの派遣等により、外国人児童生徒等の受入体制整備の充実を図ることができた。センター校が中心となり、外国人児童生徒等の受入体制の整備や支援体制の構築を図ることで、児童生徒が安心して学校生活を送れるようになった。また、センター校で実践研究した成果を分散地域の学校へ広めることができた。高等学校卒業後の進学や就職を見据えた学力保障・進路保障に向け、今後も様々な立場の関係者が連携・協力していく必要がある。「いっぽ」教室を修了した児童生徒への効果的な学習指導についての実践研究と教材の共有化を図る必要がある。